

JA相馬村 第59回通常総会

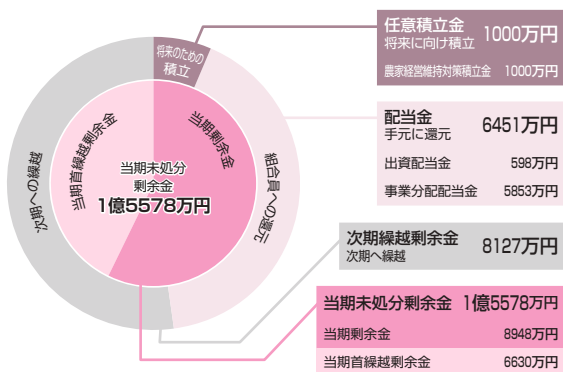


9月26日の第59回通常総会にて令和4年度事業報告と今年度の計画を含む全4議案が承認された。
総会資料「協同のあゆみ」より抜粋して概要をご報告したい。

令和4年度決算を振り返る

正組合員483名 出席数377名（本人117名 代理人54名 書面206名） 准組合員出席8名

剰余金の行方



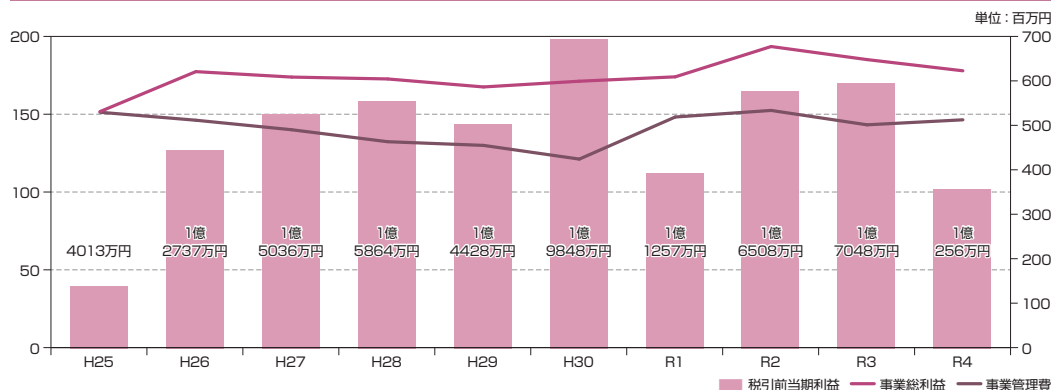
令和4年度実績（ ）内は前年比

リンゴ入庫数量 736,989箱（112%）
コメ出荷数量 5,346俵（98%）
販売総額 45億9千万円（102%）

安定性の指標

単体自己資本比率 23.91%

過去10年の経営成績推移



組合員が見守る中、冒頭、大場勉組合長は令和4年産リンゴの状況や、今期から変更のあった冷蔵庫保管料における電気料金の取扱、また肥料・資材の高騰による補助事業にも触れた。また、米の初検査では1等米に格付けされたが、今夏の高湿の影響から、今後、2等米がでることが懸念されると言及した。組合員の生活を守るために、差額を補填するなどの助成ができないかなど、理事会で考えていく方針だ。「安全に気を付けながらリンゴの作業を頑張っていたら、令和5年産も目いっぱいの入庫をお願いします」と挨拶の最後を締めくくった。

令和5年度基本方針

「新たな時代への挑戦」

・労働力の確保・飛馬りんごブランドの維持発展、スマートフレッシュ、新選果システム利用による農家所得向上・2支所のコミュニティ店舗対応・JA共済の総合保障で信頼と期待に応える・職員への教育研修、内部管理体制維持
これらを基本施策として、役員一同、令和5年度も組合員の生活と産地維持に邁進して参ります！